

平成22年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 極東開発工業株式会社

コード番号 7226 URL <http://www.kyokuto.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行責任者 (氏名) 筆谷 高明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 中井 一喜

TEL 0798-66-1500

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	37,410	△33.5	△1,220	—	△1,218	—	△1,113	—
21年3月期第3四半期	56,229	—	809	—	863	—	185	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△28.02	—
21年3月期第3四半期	4.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	85,718	53,526	62.4	1,347.16
21年3月期	90,999	54,731	60.1	1,377.46

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 53,526百万円 21年3月期 54,731百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,400	△23.2	△900	—	△800	—	△800	—	△20.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	42,737,668株	21年3月期	42,737,668株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	3,004,752株	21年3月期	3,004,287株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	39,733,048株	21年3月期第3四半期	40,200,897株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年度来の世界同時不況の根強い影響と、政権交代等を背景とする公共投資の削減、円高、雇用環境の更なる悪化等により、景気の二番底が懸念されるなど引き続き厳しい環境で推移しました。

このような中、当社主力の特装車事業につきましては、長引く不況と公共投資、民間設備投資の低迷等を背景に国内トラック需要が大幅に減少し、過去に例のない低水準で推移しました。環境事業は自治体の財政難や公共事業削減等の影響により、また不動産賃貸等事業はマンション着工件数の減少で立体駐車装置市場が低調であったこと等により、それぞれ厳しい状況が続きました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比較して、特装車の売上減により、全体では18,819百万円(33.5%)減少して37,410百万円となりました。損益面では、環境事業および不動産賃貸等事業の収益向上があったものの、特装車事業の低迷の影響が大きく、営業損益は2,030百万円減少して1,220百万円の損失となりました。経常損益は2,081百万円減少して1,218百万円の損失、四半期純損益は1,298百万円減少して1,113百万円の損失となりました。

次に事業の種類別セグメントの概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

## ①特装車事業

特装車事業につきましては、海外市場は若干改善しつつあるものの、国内はトラック市場の冷え込みにより、非常に低い水準で推移いたしました。このような中、当社は生産拠点の統廃合や、複数の工場で生産している製品の集約、また電動ごみ収集車「eパッカー」や軽トラック用荷役省力装置「パワーゲート・ミニ」をはじめとする新製品の市場投入に取り組みました。さらに集中購買等による原価低減や人件費・固定費の圧縮等トータルコストの削減に努め、急激な売上高の減少に対応すべく損益の改善を推進しましたが、売上高は19,821百万円(41.8%)減少して27,650百万円、営業損益は3,465百万円減少して2,518百万円の損失となりました。

## ②環境事業

環境事業につきましては、プラント部門の採算重視の選別受注の推進およびメンテナンス・運転受託での利益の確保に努めました。この結果、売上高は607百万円(12.3%)増加して5,546百万円、営業利益は1,339百万円増加して678百万円となりました。

## ③不動産賃貸等事業

不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置のメンテナンス、リニューアル事業への注力およびコインパーキングの売上、利益の確保に努めました。この結果、売上高は257百万円(6.1%)増加して4,514百万円、営業利益は97百万円(18.7%)増加して615百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債および純資産の状況

当第3四半期末の財政状態は前連結会計年度末と比較して、総資産が5,280百万円(5.8%)減少して85,718百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が減少したこと等により6,907百万円(14.0%)減少して42,296百万円となりました。

固定資産につきましては、設備を取得したことや投資有価証券の時価が回復したこと等により1,627百万円(3.9%)増加して43,422百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金が減少したことや短期借入金を返済したこと等により4,294百万円(18.0%)減少して19,617百万円となりました。固定負債は社債の発行や長期借入金の返済等により217百万円(1.8%)増加して12,574百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上や配当金の支払等により1,204百万円(2.2%)減少して53,526百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は62.4%(前連結会計年度末60.1%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、期首残高に比べて1,290百万円減少して9,044百万円となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

## ・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金収支は、3,673百万円(前年同期比+1,550百万円)となりました。これは、売上債権が減少したことなどによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金収支は、△2,060百万円(前年同期比△1,041百万円)となりました。これは、固定資産の取得による支出があったことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金収支は、△2,892百万円(前年同期比△1,958百万円)となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済、配当金の支払などによる支出と、社債の発行等による収入などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済はアジアを中心とする新興国の経済成長が牽引役となり、緩やかな回復が期待されますが、わが国経済は、公共事業の削減や個人消費および雇用環境の低迷等も懸念され、引き続き厳しい環境で推移するものと思われま

す。このような中、当社は海外展開を強力に推進し、グローバルな販路拡大や生産拠点の新設を鋭意進めてまいります。また、関連事業・新規事業分野への進出も検討してまいります。さらに、将来の市場が期待される新製品の研究・開発を積極的に推進し、国内生産拠点の統廃合や原価低減、固定費の削減等を進め、特装車事業の業績の早期改善を図ります。

環境事業につきましても、技術提携等により海外への積極的な展開を図ります。国内については、プラントの選別受注の確保およびメンテナンス・運転受託事業の一層の強化を図ります。

不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置等の受注の確保およびリニューアル事業の強化に努めてまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、未確定要素はあるものの現時点では概ね公表値どおりに進捗しているため、平成21年8月6日に公表いたしました業績予想の修正は行いません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び重要な連結子会社については、法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

②四半期財務諸表作成に特有の会計処理

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期が1年を超え、かつ請負金額が2億円以上の環境事業プラント工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、

「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しています。

なお、この会計処理の変更による影響はありません。

## 5 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,200	5,893
受取手形及び売掛金	21,134	25,777
有価証券	3,843	4,441
商品及び製品	872	122
仕掛品	2,627	2,361
原材料及び貯蔵品	7,569	9,155
前払費用	388	247
繰延税金資産	872	1,235
その他	494	514
貸倒引当金	△707	△545
流動資産合計	42,296	49,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,860	13,587
機械装置及び運搬具（純額）	2,222	2,626
土地	18,956	17,965
建設仮勘定	122	578
その他（純額）	801	384
有形固定資産合計	35,963	35,142
無形固定資産		
その他	388	430
無形固定資産合計	388	430
投資その他の資産		
投資有価証券	3,953	3,870
長期貸付金	12	12
長期前払費用	717	792
繰延税金資産	955	129
その他	1,749	1,645
貸倒引当金	△318	△229
投資その他の資産合計	7,070	6,222
固定資産合計	43,422	41,795
資産合計	85,718	90,999

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,669	12,231
短期借入金	2,620	5,620
1年内償還予定の社債	494	200
1年内返済予定の長期借入金	1,002	1,327
未払法人税等	113	275
未払消費税等	269	313
未払費用	1,093	2,155
引当金	821	642
その他	1,532	1,144
流動負債合計	19,617	23,911
固定負債		
社債	1,789	800
長期借入金	1,142	1,536
長期預り保証金	3,735	3,903
退職給付引当金	2,403	2,316
その他の引当金	112	108
負ののれん	1,198	1,452
繰延税金負債	1,490	1,599
その他	702	640
固定負債合計	12,574	12,356
負債合計	32,191	36,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	31,924	33,355
自己株式	△2,145	△2,144
株主資本合計	53,398	54,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204	22
為替換算調整勘定	△76	△120
評価・換算差額等合計	128	△98
純資産合計	53,526	54,731
負債純資産合計	85,718	90,999

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	56,229	37,410
売上原価	47,301	31,201
売上総利益	8,928	6,208
販売費及び一般管理費	8,118	7,429
営業利益又は営業損失(△)	809	△1,220
営業外収益		
受取利息及び配当金	129	70
負ののれん償却額	282	282
持分法による投資利益	—	20
雑収入	128	45
営業外収益合計	539	419
営業外費用		
支払利息	150	134
持分法による投資損失	8	—
為替差損	150	148
雑支出	177	134
営業外費用合計	486	417
経常利益又は経常損失(△)	863	△1,218
特別利益		
固定資産売却益	6	2
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産処分損	28	49
投資有価証券売却損	45	—
投資有価証券評価損	322	202
たな卸資産評価損	95	—
早期割増退職金	—	47
減損損失	34	3
その他	21	20
特別損失合計	549	322
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320	△1,538
法人税等	134	△424
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185	△1,113

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320	△1,538
減価償却費	1,504	1,495
減損損失	34	3
のれん償却額	28	28
負ののれん償却額	△282	△282
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46	87
貸倒引当金の増減額(△は減少)	86	251
その他の引当金の増減額(△は減少)	△10	182
受取利息及び受取配当金	△129	△70
支払利息	150	134
その他の営業外損益(△は益)	△7	47
持分法による投資損益(△は益)	8	△20
投資有価証券評価損益(△は益)	323	202
投資有価証券売却損益(△は益)	45	△0
固定資産売却損益(△は益)	△6	△2
固定資産除却損	28	49
売上債権の増減額(△は増加)	9,416	4,526
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,347	571
その他の資産の増減額(△は増加)	370	△184
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,895	△176
割引手形の増減額(△は減少)	△2,460	—
その他の負債の増減額(△は減少)	190	△1,198
未払消費税等の増減額(△は減少)	△189	△45
小計	3,132	4,059
利息及び配当金の受取額	127	68
利息の支払額	△126	△114
法人税等の支払額	△1,010	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,123	3,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△984	△2,108
固定資産の売却による収入	2	5
投資有価証券の取得による支出	△260	△9
投資有価証券の売却による収入	278	51
短期貸付金の増減額(△は増加)	△74	—
長期貸付けによる支出	△1	△4
長期貸付金の回収による収入	19	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019	△2,060

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,540	△3,000
長期借入れによる収入	—	330
長期借入金の返済による支出	△991	△1,049
社債の発行による収入	—	1,470
社債の償還による支出	—	△187
自己株式の取得による支出	△1,077	△0
自己株式の売却による収入	0	—
リース債務の返済による支出	—	△138
配当金の支払額	△406	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△934	△2,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203	△1,290
現金及び現金同等物の期首残高	8,186	10,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,390	9,044

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,472	4,939	3,818	56,229	—	56,229
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	437	438	(438)	—
計	47,472	4,939	4,256	56,668	(438)	56,229
営業利益又は営業損失(△)	947	△660	518	805	3	809

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	27,649	5,546	4,214	37,410	—	37,410
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	300	301	(301)	—
計	27,650	5,546	4,514	37,711	(301)	37,410
営業利益又は営業損失(△)	△2,518	678	615	△1,223	3	△1,220

(注)①. 事業区分は売上集計区分によっています。

②. 各事業の主要な製品

(イ)特装車事業・・・・・・ダンプトラック、テールゲートリフター、タンクローリ、ごみ収集車、コンクリートポンプ車、粉粒体運搬車、トレーラ、バン型トラックボデー、ウイング型トラックボデー等の製造販売およびアフターサービス

(ロ)環境事業・・・・・・リサイクルプラザ・リサイクルセンター等の建設、施設の運転受託およびアフターサービス

(ハ)不動産賃貸等事業・・立体駐車装置の製造販売およびアフターサービス、コインパーキング事業、不動産の賃貸、損害保険代理業

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しました。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略しました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。